

皆様こんにちは！ 本日は、水野正人ガバナーを迎えてのコザロータリークラブとの合同例会であります。ガバナーはじめ、川畑ガバナー補佐、山里分区幹事、訪問ようこそ有り難うございます。

公式訪問歓迎の言葉と合同例会については、當山啓介コザRC会長がご挨拶されまして、私も以下同文であります。(^ _ ^)

私の方からは、ガバナーがおいでですので、特にお知らせしたい2点を述べさせていただきます。

先ず第1に、"ロータリーの綱領"についてのお話しであります。私の職業とする建設コンサルタントの4年に一度の資格講習が月曜日にありましたが、今年3月に施行された技術者倫理規定についての説明の中で、なんと！ロータリークラブでは、「ロータリーの綱領」があると、講師がパワーポイントしたのであります。職業規範、職業倫理について詳細が「ロータリーの綱領」や「四つのテスト」を思い浮かべる用語がたくさんありまして、本協会規定には「倫理綱領」のタイトルがつけられていました。"ロータリーは難しい"と言わしめているロータリー入門の頭最初にでてくる"綱領"という語彙は、"目的"に和訳変更するべきとの声が多くなっています。しかし、今回のことで、タイトルは"綱領"のまま、頭出しの「ロータリーの綱領は、」の"綱領"は"目的"に変更したら、格調高き"綱領"は維持されるのではと考え、折衷案として皆さんに考える機会を提案するものであります。

もう一つは、我がクラブがスポンサーとして米国ペンシルベニアに派遣しています"仲宗根あい"からの9月報が届いていますが、1日も待たずして10月1日に配信されています。その中身もいろいろな体験談や思いがあり、語学力不足などによる順応に苦心しながらも、前向きな決意が感じられ、感動するものであります。

ロータリアンの皆様も配付したこの月報をご覧頂きますれば青少年交換プログラムの良さを再認識することでしょう。

